

株式会社マーベラスAQL 経営近況報告会

2014年6月23日

証券コード：7844（東証1部）

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。

当社の概要

経営理念

**「驚き」と「感動」を世界に届ける
新しいエンターテインメントの創造**

私たちは、あらゆる娯楽の要素を融合させた新しいエンターテインメントの創造により、世界の人々に「驚き」と「感動」を届ける企業として、誰もが夢見る未来の創造に貢献します。

当社の概要

「多彩なエンターテインメントコンテンツ」を、
「あらゆる事業領域」において、「様々なデバイス」向けに展開

マルチコンテンツ

多彩なエンターテインメントコンテンツ



©MarvelousAQL Inc.



©2013 MarvelousAQL Inc.



©ABC・東映アニメーション



マルチユース

あらゆる事業領域

オンライン
事業

オンラインゲーム

PC向け

モバイル向け

コンシューマ
事業

家庭用
ゲーム機

アミューズメント施設
(業務用)

音楽映像
事業

音楽

映像

ステージ

マルチデバイス

様々なデバイス



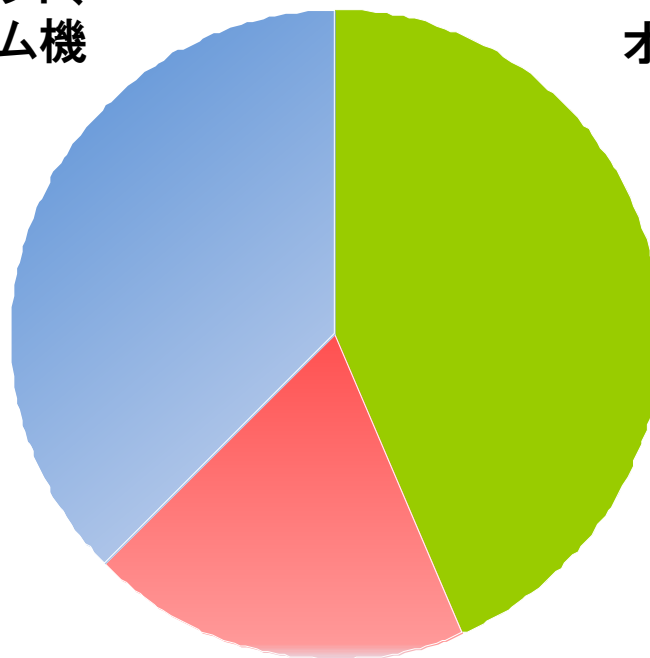
当社の概要 事業別売上構成比

コンシューマ事業 **37.5%**

家庭用ゲーム機向けゲームソフト、
アミューズメント施設向けゲーム機
の企画・開発・制作・販売

オンライン事業 **43.7%**

PC・モバイル向けに
オリジナルIPや他社有力IPを
活用したゲームやアプリを
企画・開発・運営



音楽映像事業 **18.8%**

音楽・映像等多様なコンテンツの企画・プロデュース・制作・販売、
及び、舞台・ミュージカルの企画・制作・興行

2014年3月期の業績概要

2014年3月期通期業績について(前期比)

売上、利益ともに前期比で順調に拡大し2桁成長を継続

Point

- ポケモンレッタの好調継続
- コンシューマゲームソフトの販売好調
- 「舞台『弱虫ペダル』」の大ヒット

(単位:百万円)	通期実績	構成比
売上高	20,330	100.0%
営業利益	3,006	14.8%
経常利益	3,041	15.0%
当期純利益	1,882	9.3%

前期実績	前期比
17,579	115.6%
2,329	129.0%
2,325	130.8%
1,919	98.1%

2014年3月期通期業績について(前期比)

Point

**オンライン事業が売上伸長、
 コンシューマ事業が好調維持、音楽映像事業が躍進
 3事業ともに事業が拡大し、増収増益を達成**

(単位:百万円)		2013年3月期	2014年3月期	前期比
売上高	オンライン事業	7,269	8,877	122.1%
	コンシューマ事業	7,059	7,630	108.1%
	音楽映像事業	3,256	3,825	117.5%
営業利益	オンライン事業	665	742	111.6%
	コンシューマ事業	1,819	2,268	124.7%
	音楽映像事業	738	921	124.7%

オンライン事業

「剣と魔法のログレス いにしへの女神」
(ネイティブアプリ)



©MarvelousAQL Inc. Aiming Inc.

「ブラウザ三国志」
(PCブラウザ)



©MarvelousAQL Inc.

「一騎当千バーストファイト」
(モバイルブラウザ)



©2011 塩崎雄二・ワニブックス／一騎当千集闘闘士血風録パートナーズ
©MarvelousAQL Inc.

コンシューマ事業

ポケモンレッタ
(アミューズメント)



©2014 Pokémon.
©1995-2014 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK Inc.
Developed by T-ARTS and MAQL

牧場物語 つながる新天地(3DS)



©2014 MarvelousAQL Inc. All Rights Reserved.
SUPER MARIO items © 2014 Nintendo.

幕末Rock(PSP)



©2014 MarvelousAQL Inc.

音楽映像事業

ドキドキ！プリキュア



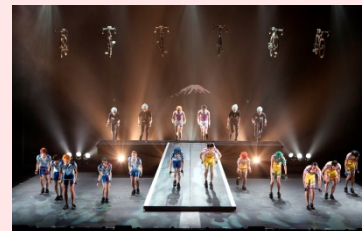
© ABC・東映アニメーション

ミュージカル『テニスの王子様』
全国大会 青学vs氷帝



©許斐 剛／集英社・NAS・新テニスの王子様プロジェクト
©許斐 剛／集英社・テニミュ製作委員会

舞台『弱虫ペダル』インターハイ篇
The Second Order



© 渡辺航 (週刊少年チャンピオン) 2008
© 渡辺航 (週刊少年チャンピオン) / マーベラスAQL、東宝、ディー・バイ・エル・クリエイション

vistlip

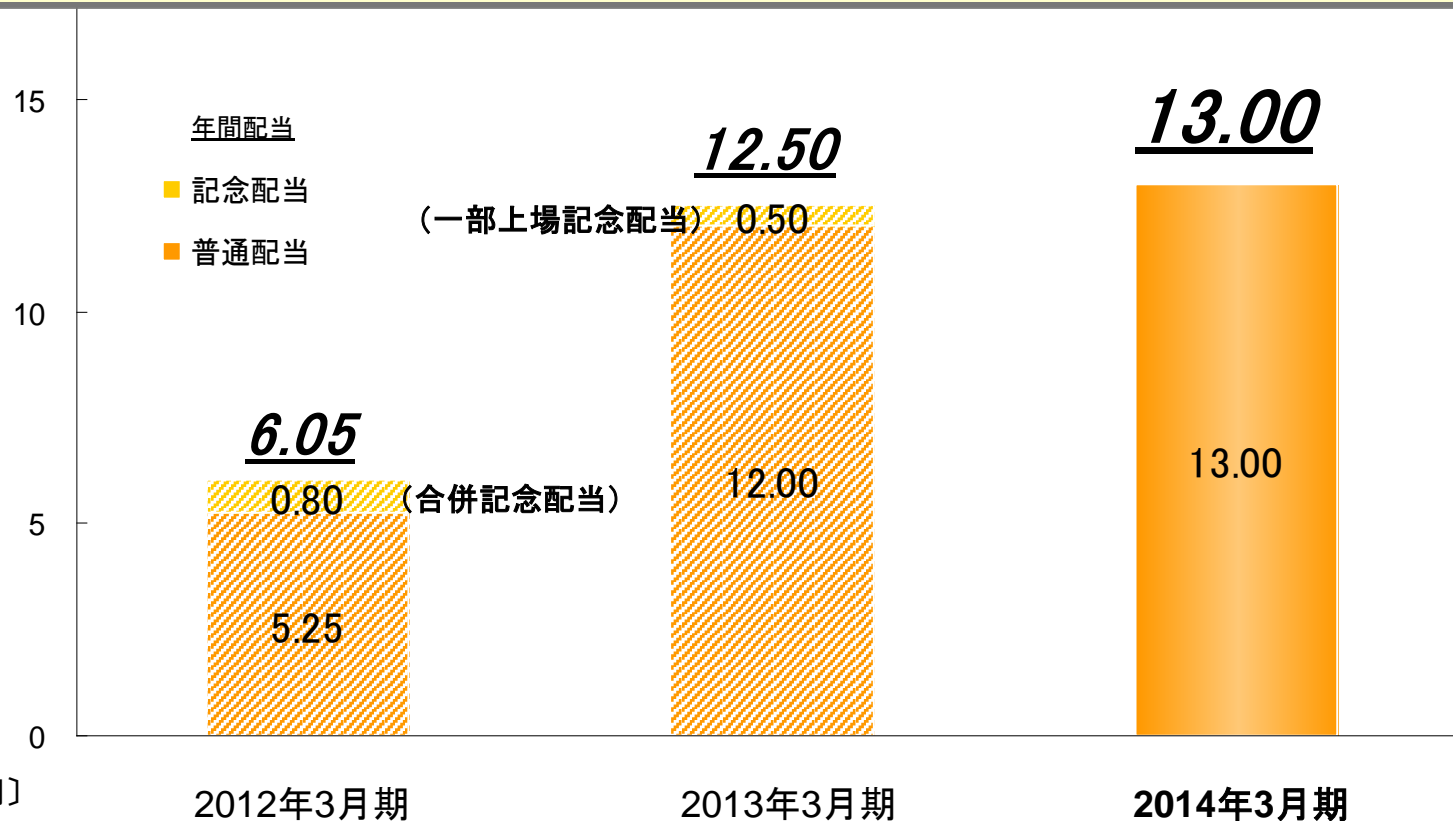


©MarvelousAQL

配当金

<2014年3月期 1株あたり配当金>

普通配当1円増配 → 年間配当金13円



全 社 方 針

社名変更

MARVELOUS!

新生マーベラス～2ndステージスタート～

2014年7月1日、「株式会社マーベラスAQL」は「株式会社マーベラス」へ商号変更し、新たな一步を踏み出します。

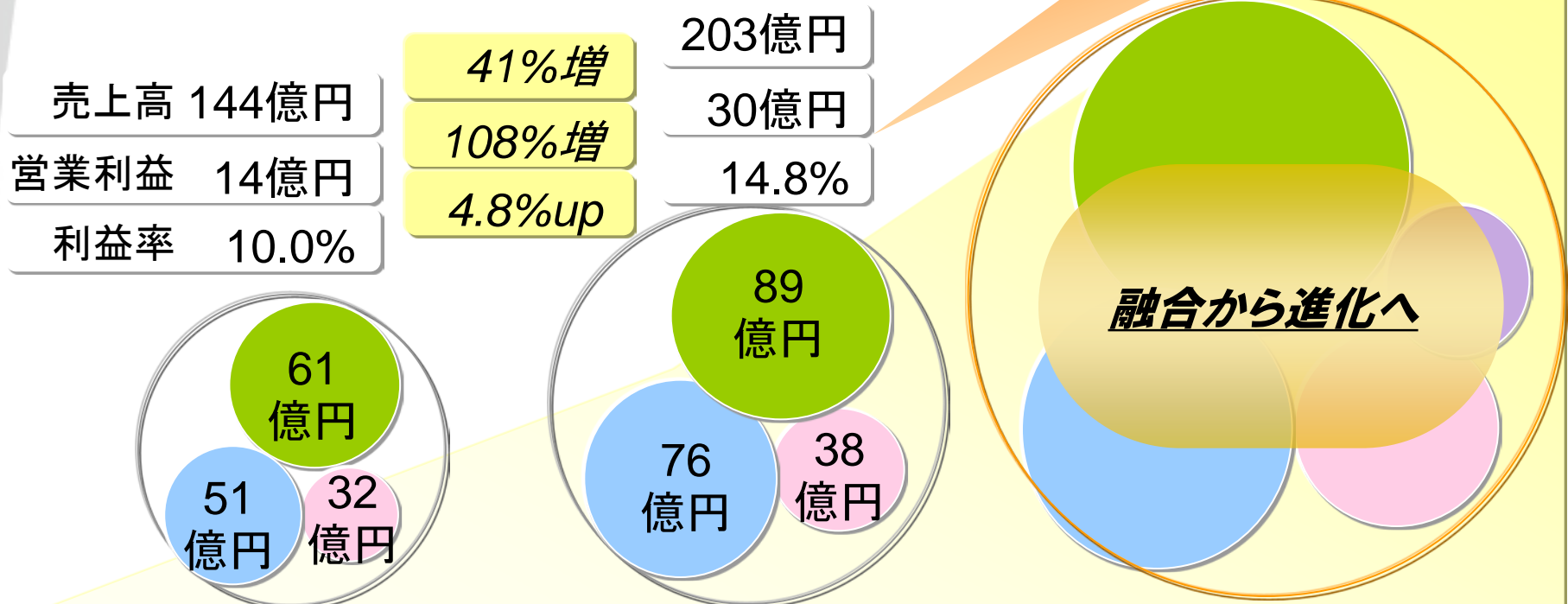
経営統合からの振り返り

- **ゲーム業界は、スマホの浸透などにより大きく変化**
- **総合エンタメ企業の強みを活かし、年率約20%成長**
- **注力分野の慎重な判断により、収益力UP(営業利益倍増)**
- **3事業ともに既存タイトル強化、新規IP創出の両面において堅調に事業規模を拡大**
- **3社の融合は、想定どおりに進捗し飛躍への基盤完成**
- **融合・成長基盤完成により、従来の強み・ビジネスモデルを最大限発揮し、大きな飛躍に向け積極展開できる体制へ**

経営統合以来の進捗と今後の展開

「強力なIPの創出・育成」と「総合エンターテインメント企業」の強みを活かし

融合から更なる付加価値創出へ大きく飛躍



MARVELOUS!

2012年
3月期(単純合算)

2014年
3月期

取り組み

好調タイトルの運営強化と 新たなアプリゲーム開発に最大注力

- 「剣と魔法のログレス いにしへの女神」の更なるヒットに注力
- ネイティブアプリを中心とした新規タイトルの企画・開発
- 既存主力タイトルの維持強化

タイトル展開

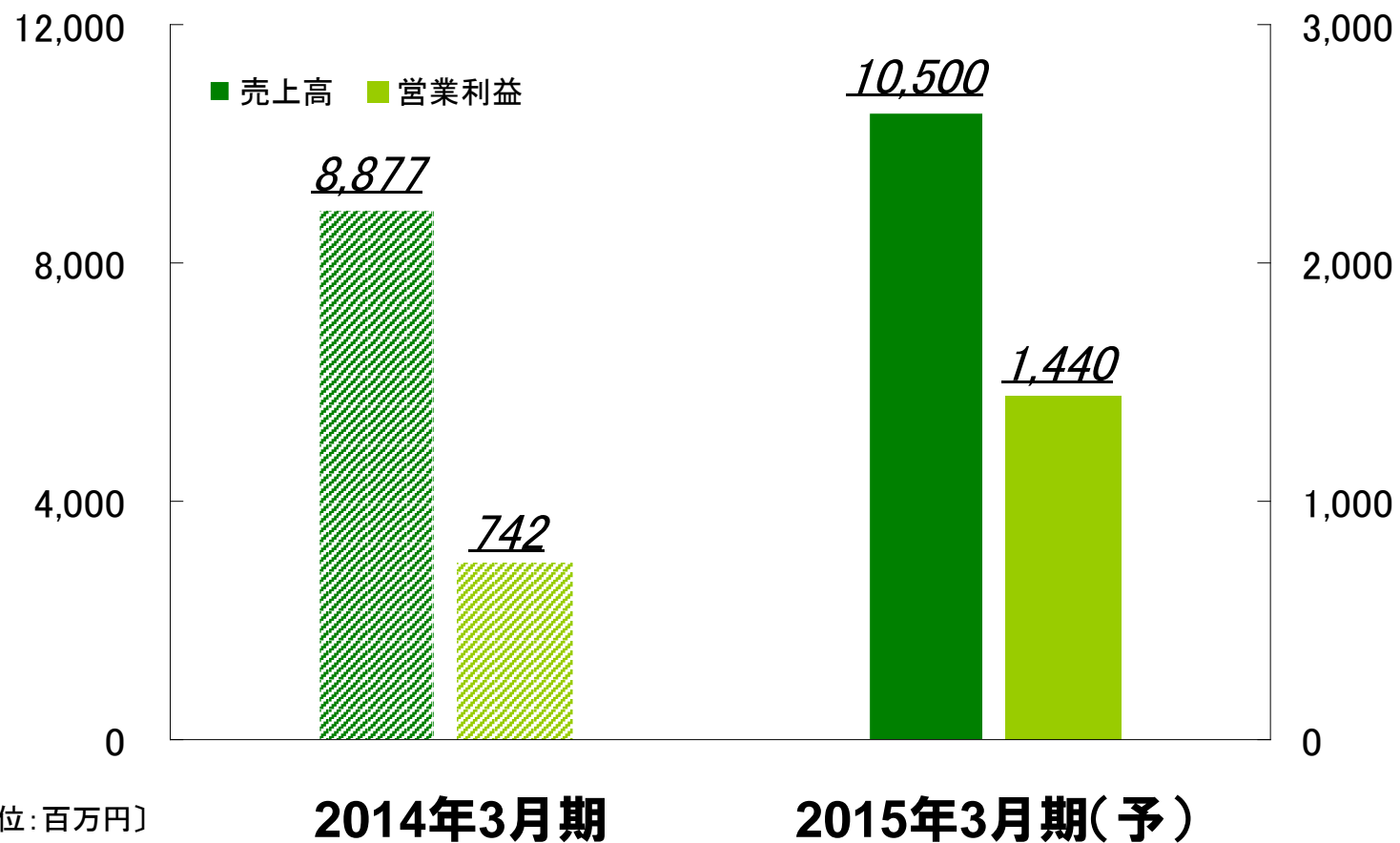
ワールドワイド
向けIP

ワールドワイド
向けIP

国内向けIP

オリジナルIP

2015年3月期は、約18%の増収、利益大幅増を計画



取り組み

好調タイトルの維持成長と新規タイトルの投入

- 「閃乱カグラ」シリーズから新作2作品を発売
- 「IA/VT -COLORFUL-」、「禁忌のマグナ」ほか、多数の新作タイトルを編成
- キッズアミューズメント新作「パズドラZ テイマーバトル」を6月26日より投入

タイトル展開

閃乱カグラ2 -真紅-(3DS)

2014年8月7日発売予定



©2014 MarvelousAQL Inc.

IA/VT -COLORFUL-(PS Vita)

2014年秋発売予定



©2014 MarvelousAQL Inc./1st PLACE Co Ltd. | IA PROJECT

禁忌のマグナ(3DS)

2014年10月2日発売予定



©2014 MarvelousAQL Inc.

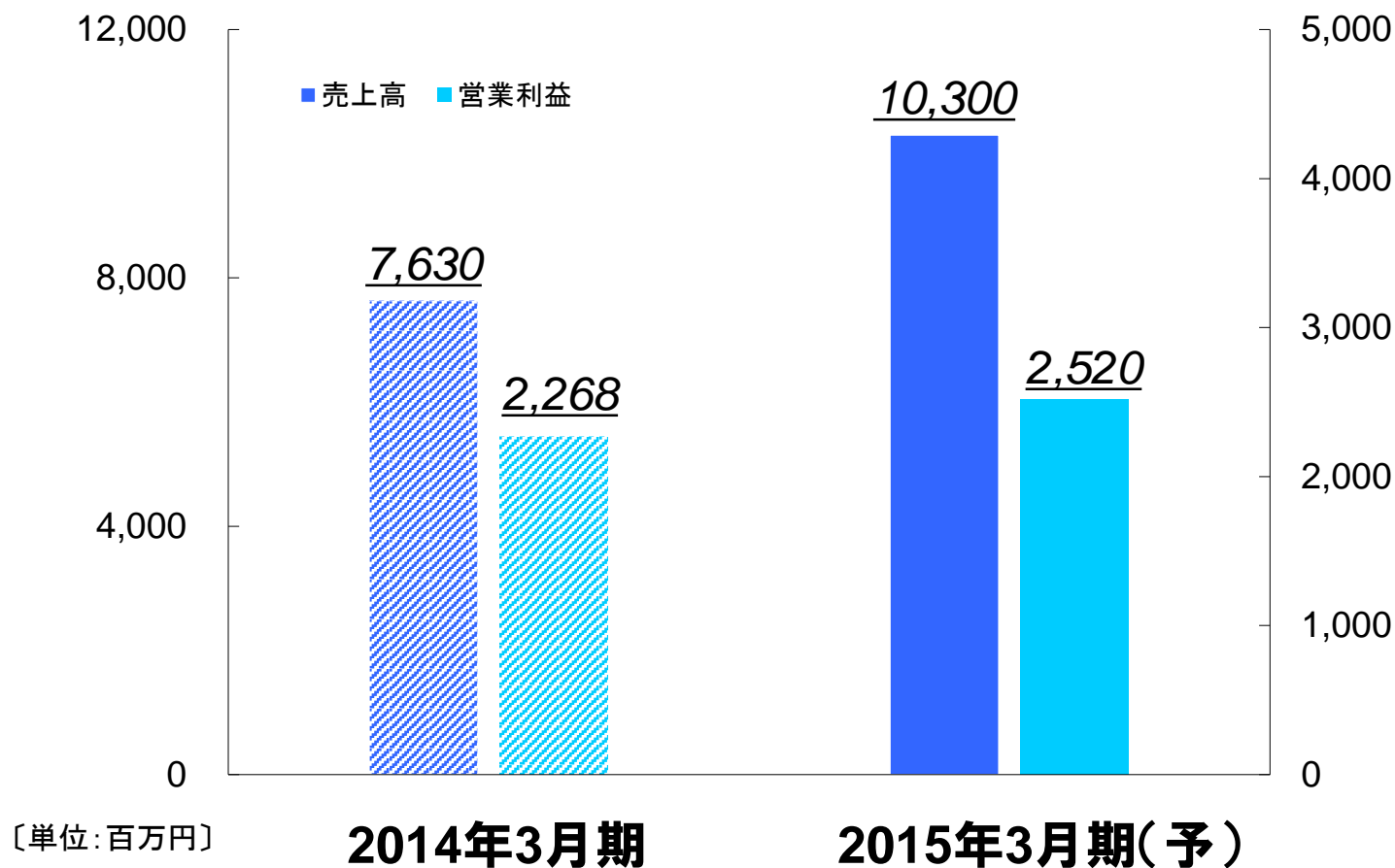
パズドラZ テイマーバトル
(アミューズメント)

2014年6月26日より順次稼働予定



© GungHo Online Entertainment, Inc. / MarvelousAQL Inc.

2015年3月期は、大幅増収と高収益体質を維持



取り組み

好調タイトルの維持成長と新規タイトルの投入

- 主力の「プリキュア」シリーズ、「ミュージカル『テニスの王子様』」シリーズは、引き続き傾注
- 第3の柱となった「舞台『弱虫ペダル』」を更なるヒットコンテンツへ育成
- 新規アニメ「東京喰種トーキョーグール」、「幕末Rock」に期待
- 「ミュージカル『薄桜鬼』」シリーズ、「舞台『K』」などライブエンターテインメント分野にもさらに注力

タイトル展開

ハピネスチャージプリキュア！

ABC・テレビ朝日系列にて
毎週日曜朝8時30分より好評放送中



© ABC・東映アニメーション

幕末Rock

2014年7月よりTV放送開始予定

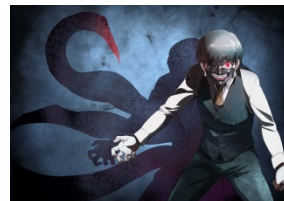


©2014 MarvelousAQL Inc.／幕末Rock製作委員会

東京喰種トーキョーグール

2014年7月よりTV放送開始予定

東京喰種
Tokyo Ghoul



©石田スイ／集英社・東京喰種製作委員会

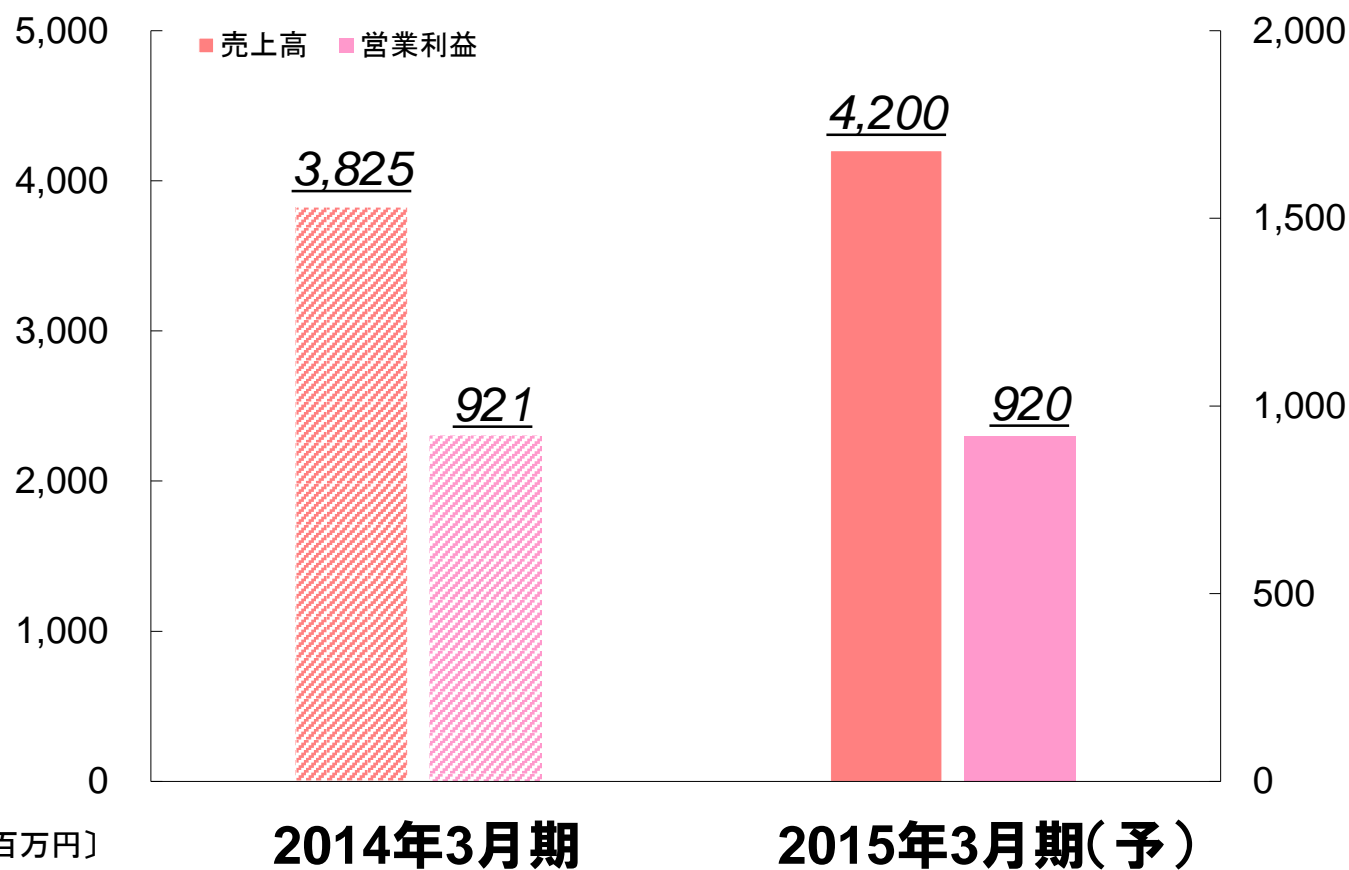
舞台『K』

2014年8月公演予定



©GoRA・GoHands/k-project
©GoRA・GoHands/stage k-project

2015年3月期も主力シリーズを中心に事業拡大



業績予想と株主還元

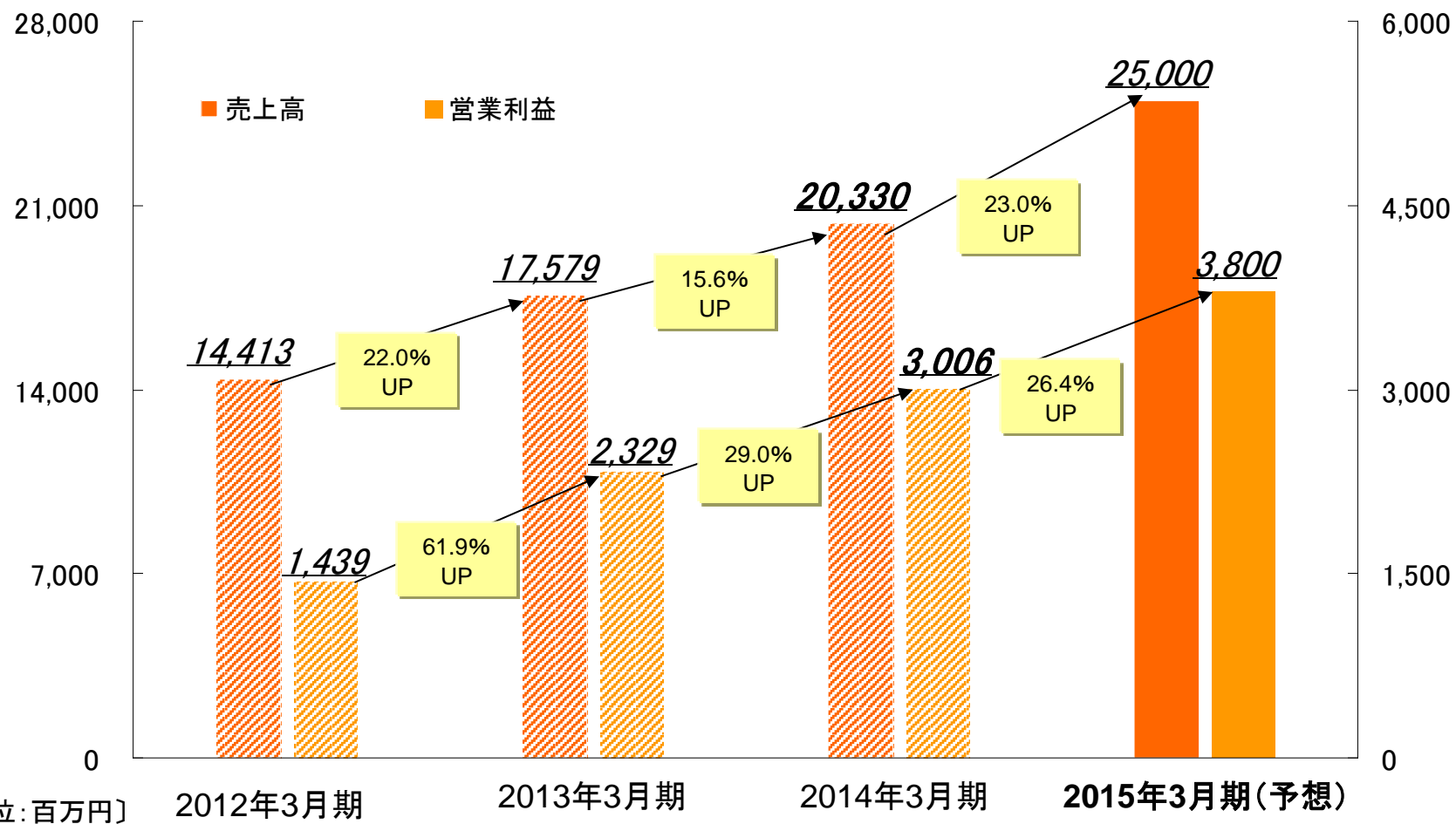
2015年3月期 通期業績予想

Point

- 売上高 前期比 約47億円(23.0%)増
- 営業利益 前期比 約8億円(26.4%)増
- 当期純利益 前期比 約4億円(20.8%)増

(単位:百万円)	2014年3月期 (実績)	2015年3月期 (予想)	前期比		利益率
			増減額	増減率	
売上高	20,330	25,000	4,669	23.0%	—
営業利益	3,006	3,800	793	26.4%	15.2%
経常利益	3,041	3,790	748	24.6%	15.2%
当期純利益	1,882	2,274	391	20.8%	9.1%

3期連続の2桁成長を継続 今期は売上・利益ともに20%超の成長



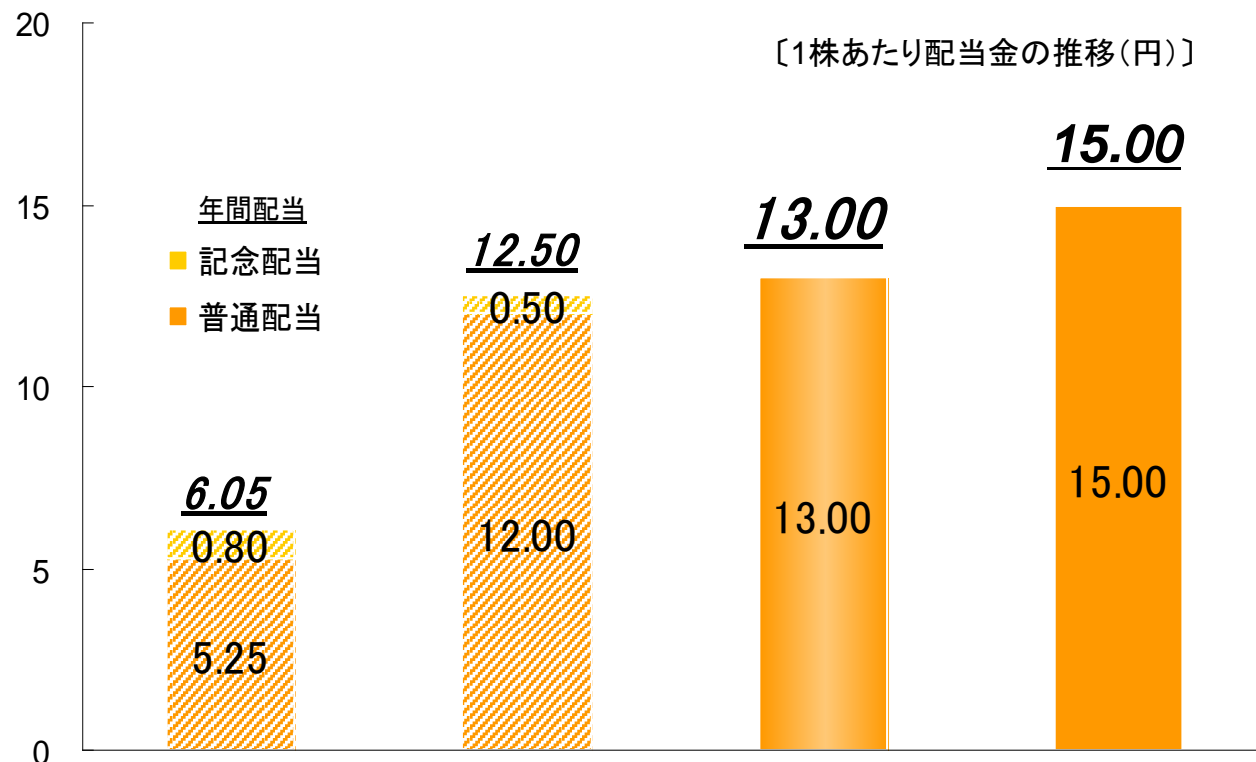
(単純合算)

配当方針、2015年3月期配当金予想

2015年3月期：配当方針に沿い、年間15円を計画

配当方針

将来の事業拡大と財務体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、配当性向30%以上を目標に、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。



	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期 (予想)
配当性向	5.6%	34.8%	36.9%	35.3%

※2013年3月期以前の数値につきましては、2013年10月1日に効力が発生した普通株式1株を100株とする株式分割を勘案した数値を掲載しております。

ご静聴、誠に有難うございました。

〈お問い合わせ先〉

経営企画室

URL:<http://www.maql.co.jp>

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。